

WIND MANDALA

YASU SUZUKA

SOLO EXHIBITION

2020.10.10^{SAT}—2021.3.7^{SUN}



鈴鹿芳康 個展

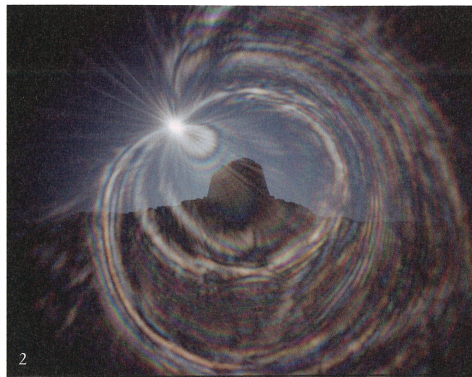
今治市玉川近代美術館(徳生記念館)

Tamagawa Museum of Modern Art, Imabari

時間 | 9:00—17:00 休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日(月)—1月4日(月) 観覧料 | 一般 520円、学生 260円

主催 | 一般財団法人今治文化振興会、今治市玉川近代美術館(徳生記念館)

後援 | 愛媛新聞社、毎日新聞松山支局、読売新聞松山支局、朝日新聞松山総局、産経新聞社、南海放送
テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、今治CATV、今治市教育委員会、今治市文化協会



1: #2701 | Iyo, Ehime, Japan | 2007 2: #2622 | Nuraghe, Sardegna, Italy | 2006 3: #0551 | Kashiwazaki, Niigata, Japan | 1992
4: #0920 | Big Sur, California, USA | 1996 5: #0309 | Rebun, Hokkaido, Japan | 1990 6: #2854 | Aki, Kochi, Japan | 2008

WIND MANDALA

鈴鹿芳康 個展

2020年10月10日土—2021年3月7日日

時間 | 9:00—17:00

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌平日)

12月28日(月)—1月4日(月)

観覧料 | 一般 520円、学生 260円

※高校生以下または18歳未満は無料

※一般団体(20名以上)、65歳以上の方は420円

※障がい者手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料

関連イベント

アーティストトーク

11月8日(日)、12月13日(日)、2021年1月17日(日)

時間 | 14:00—(約60分)

内容 | 作家が作品や制作についてお話しします

定員 | 20名(先着順)

要・事前申込 ※観覧チケットが必要

デジタルピンホールカメラのワークショップ

11月15日(日)

時間 | 13:00—(約3時間)

講師 | 鈴鹿芳康氏

対象 | デジタルカメラ(レンズとカメラを取り外せるもの)

CanonやNikonの一眼レフなど)をお持ちの方

定員 | 10名(先着順)

要・事前申込 参加無料

※カメラのボディキャップがある方は持参してください。

関連展示

「写真とは一期一会の写心なり」

会期 | 2020年11月1日(日)—2021年2月7日(日)

前期 | 2020年11月1日(日)—12月20日(日)

ピンホールカメラが結ぶ「縁」と、鈴鹿が1975年から現在に至るまで続けているセルフポートレート作品を中心に展示

後期 | 2021年1月5日(火)—2月7日(日)

世界平和への祈りと四国八十八ヶ所霊場お遍路を巡る旅より

会場 | 今治市玉川文化交流館(美術館隣接)

展示作品は、ピンホールカメラと共に旅をしながら、太陽や風景、そして世界各地の聖地を撮影した写真である。ピンホールカメラとは原初的な写真機で、レンズを使わずに針孔(ピンホール)を利用したカメラで、デジタルカメラのように撮影した被写体をその場で確認することは出来ず、照射したフィルムを現像して初めて仕上がり分かる。そこには自分の意図を超えた思わぬ結果が出てくることがある。

それ故に、私にとってピンホール写真は「撮る」という主体的な行為ではなく、大自然の见えないエネルギーを「撮らせていただく」という受動的な行為に近い気がする。

陰陽五行に導かれながら旅の方位を決めて、自由な心で人々と風景に出会う旅は、一つ一つの偶然の積み重なりが数珠のように連なり、必然になっていく。その意味では「一期一会の連鎖」ということも出来る。私のピンホール写真は、この連鎖の「縁」をも捉えて表現している、といってもいいだろう。

最近では大自然のバランスが崩れ始めているが、ピンホールカメラで撮影する世界は、普段私たちが忘れていた何かを思い起こす力があるのではと感じている。

尚、全ての展示作品は、大判カメラ[8x10inch]を使用し、レンズの代わりに小さな針孔[0.3mm]から入る太陽光を長時間露光で撮影。作品の表現として印画紙の代わりに徳島県・吉野川市の和紙工房[アワガミファクトリー]の手すき和紙を使用。

鈴鹿芳康 YASU SUZUKA

1947 神奈川県生まれ
1966-1968 多摩美術大学油絵科で学ぶ
1973-1975 京都市立芸術大学版画研究室講師
1975 フルブライト研究員奨学金を得て
サンフランシスコ・アート・インスティテュート写真科留学
1984-1991 京都芸術短期大学助教授

1991-2012 京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)教授
2002-2007 京都大学客員教授(学術情報メディアセンター)
2004-2012 東京工芸大学客員教授
2007-2012 ピンホール写真芸術学会会長
現在 京都芸術大学名誉教授
ピンホール写真芸術学会名誉会長

今治市玉川近代美術館

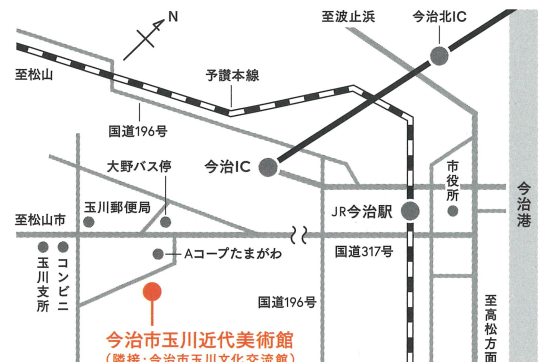
〒794-0102 愛媛県今治市玉川町大野甲86-4

Tel・Fax | 0898-55-2738

<http://museum.city.imabari.ehime.jp/tamagawa/>

【交通案内】

自動車 | JR今治駅から(国道317号)約15分
松山市内から(国道317号)約50分
しまなみ海道今治ICより(国道317号)約10分
バス | 今治駅から「神子森行き(鈍川経由)」
または「木地口葛谷行き」乗車、
[大野]下車 徒歩1分
松山市内から[玉川支所前]下車 徒歩8分
駐車場 | あり



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期または中止する場合があります。ホームページ等で最新の情報を確認のうえ、ご来館ください。

制作協力 | アワガミファクトリー

Awagami
Factory

